

やもめぐらし

寡婦の文化人類学

椎野 若菜 編 定価 3200円十税 明石書店**ご**03 (5818) 1171

文化人類学からみた 世界の寡婦の実態

らがなで書かれた「やも めぐらし」の女イトル が、柔らかで、まるで小

実はこの本、異文化社 会に身を置き、フィールで社会を生きてきた。 ドワークを行ってきた一 七人の社会・文化人類学に従ったために、かえっ 者たちによる論文集で、

「真婦」たちが、その後 どのように生きている

か、を書いたもの。 **寡婦たちの生き方や処 果、ある意味自由で、**自 遇は国や地域によってさ

で借かれた一輪の花。ひ

くなると、火の中に飛び 説のような印象だ。思わ ず手に取ってみたくな

赤い表紙にエッチング

なのしたぶん

(のは私・女の目・友愛を意味します)

2007年11月25日

国によっては、夫が亡

込み、亡夫の後を追う。

あるいは、実の息子によ

って絞殺される時代があ

った。また、「寡婦」は不

吉な存在とみなされた り、多くの削約に縛られ

半面、制約や性別役割

てそれらに守られて生き

ている寡婦。「寡婦」 にな

ると、夫の代わりに外と

の関わりが多くなり、結

立的な生き方ができるな

まらかいまちだっ

〒113-0033 東京都文京区本郷1-33-3 東プロビル E-mail: onnano-shimbun@tcn-catv.ne.jp 毎月10日・25日発行 1 部月300円(送料別・120円) 03(3816)1862 FAX03(3816)1824 00170-0-99031 振替口座

次号のお知らせ

ど、寡婦たちの実態は実

に多様で、興味が尽きな

文化人類学者は、さま

ざまな視点から人間の文

化を眺め、研究してきた

が、これまで「寡婦」の

社会的処遇をめぐる分析

「真婦」を主体的な位 置に据えて、社会を把握

する研究に着目し、これ

を大部にまとめた若い文

既成にとらわれない学問

的探究心に敬意を表した

(盆)

化人類学者推野さんの、

や研究は皆無だった。

高齢者医療制度について特集します